

上北山村の住民力で育む ヒト・モノの交流による未来の村づくり事業 委託業務仕様書

1. 業務名

上北山村の住民力で育む ヒト・モノの交流による未来の村づくり事業委託業務

2. 業務の目的

本業務は、本村が平成27年度に策定した「上北山村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、平成29年度に地方創生推進交付金の給付を受けて実施する「上北山村の住民力で育む ヒト・モノの交流による未来の村づくり事業」（以下、対象事業という。内容については、下記枠内参照）を効率的かつ効果的に推進することにより、本村の課題解決に寄与することを目的とする。

【事業の背景】

平成28年度に実施した「協働・連携による“かみきた”魅力創出・発信プロジェクト」では、公募で10代から60代の住民が集まり、約15名のメンバーが20代～40代の女性リーダーを中心に村内外の新たな交流推進やモノづくり、情報発信を進めている。また、同じく平成28年度に実施した山の恵みを宅急便で届けるという試行事業においては、地域の特産品をインターネット等の手段で販売する仕組みづくりができた。今後は、上記の住民グループにより、この特産品のネット販売事業（まるごろっ！かみきた便）の収益事業化を図るとともに、住民グループとともに地域の資源と魅力を活かした新たなヒト・モノの交流を育むことにより、「来たい、住みたい、住み続けたい“かみきた”」の実現を目指す。

【事業の概要】

本事業では、平成28年度の「協働・連携による“かみきた”魅力創出・発信プロジェクト」において生まれた住民グループ「がんばろらえ！かみきた」を実施主体とし、役場や地域の既存団体、村内外の学校・企業等と連携しながら、(1)ヒト・モノの新たな交流推進、(2)交流推進のための地域資源活用、(3)交流を促進する情報発信・活用の3つの取組、及びそれに並行して(4)住民力の育成を進める。

「(1)ヒト・モノの新たな交流推進」では、地域の魅力や移住に関する情報等を発信するワンストップ窓口を設置するほか、主にマルシェやツアーといったイベントを通し、ヒトやモノの新たな交流を進めつつ、買い物・訪問リピーターとなり得る村のファンを創出する。さらには、ランドオペレーター事業や地域限定旅行業への発展をめざす。

「(2)交流推進のための地域資源活用」では、平成28年度に試行した特産品のネット販売事業（まるごろっ！かみきた便）について、将来的に住民グループの自立のための主財源を確保できる事業とするためのビジネスモデルの構築と、空き家等を移住体験施設やチャレンジショップ等として活用するためのプランづくりを住民と外部協力者の連携のもとに進め、整備後はここを拠点に各種事業により自主運営し、数年後には独立を目指す。

「(3)交流を促進する情報発信・活用」では、地域の旬の情報発信とともに

に、(1)(2)の取組についても積極的に発信し、更なる交流の促進を図るほか、「(4)住民力の育成」では、これらの事業を進める上でのノウハウや技術、また、住民グループの法人化をめざすための研修等を行い、自立に向けた住民グループの人と組織の育成をめざす。

3. 業務の期間

契約締結日から平成30年3月9日までとする。

4. 業務の内容

(1) ヒト・モノの新たな交流推進支援

受託者は、本村の住民グループ「がんばろらえ！かみきた」を実施主体としたヒト・モノの新たな交流を推進するため、以下の支援を行う。

- ・新たに設置するワンストップ窓口の効果的な活用のための仕組みづくり
- ・住民グループらが企画～開催する村内における交流イベントの企画支援（※会場使用料等、参加費で賄えない経費の一部は受託者が負担する）
- ・住民グループらによる村外における広報活動等の渉外支援
- ・先進事例等、必要となる各種情報の提供
- ・取組の評価、効果測定

(2) 交流推進のための地域資源活用支援

受託者は、本村の住民グループ「がんばろらえ！かみきた」による地域資源の効果的な活用を促進し、長期的にはその活動の財源確保につなぐため、以下の支援を行う。

- ・本村が平成28年度より試行している特産品のインターネット販売の継続（※商材の掘り起こしや検証、販売ページの更新を含む）
- ・上記インターネット販売を含む特産品販売事業のビジネスモデルの構築
- ・空き家等を交流拠点として活用する「空き家等交流販売拠点活用計画」の策定（※空き家の基本調査は平成27年度に実施済み）
- ・外部視点による地域資源の発掘や活用のための連携支援（※外部協力者への謝礼等は受託者が負担する）

(3) 交流を促進する情報発信・活用支援

受託者は、本村の住民グループ「がんばろらえ！かみきた」による情報発信や活用を効果的に進め、ヒト・モノの交流を促進するため、以下の支援を行う。

- ・インターネットやSNSによる情報発信を効果的に進めるための企画支援
- ・魅力発信のための情報紙またはマップの企画補助及びデザイン等の制作（※情報紙またはマップ、計2種の印刷費用は受託者が負担する）

(4) 住民力の育成支援

受託者は、本村の住民グループ「がんばろらえ！かみきた」が主体となって本事業を進める上でのノウハウや技術の習得及び住民グループの法人化を進めるため、以下の支援を行う。

- ・ 先進地視察研修の企画、手配及び同行
(最低1回。庁内職員含む最大25人を想定)
(※研修先への謝礼及び庁内職員分を除く交通費等は受託者が負担する)
- ・ 研修(ワークショップ形式を含む)の企画～開催
- ・ 研修に必要な外部講師、アドバイザー等の手配
(※外部講師、アドバイザー等への謝礼及び交通費は受託者が負担する)

(5) その他の支援

受託者は、上記(1)～(4)の支援を効果的に進めるため、必要となる各種データの収集や調査・分析等を行うとともに、本事業及び本事業を含む「上北山村まち・ひと・しごと創生総合戦略」推進のため、以下の支援を行う。

- ・ 各種データの収集、統計調査
- ・ 事業に関連するアンケート調査やヒアリングの実施
- ・ 上記調査結果等の分析と視覚化
- ・ 村内の関連団体・事業者等との連携
- ・ 関連する会議等への出席

5. 業務の目標値 (KPI)

本業務は、国の地方創生推進交付金の給付を受けて実施するものであることから、以下の目標値 (KPI) を設定する。 ※ () 内は昨年度実績

- ・ 特産品のインターネット販売額 160,000円 (60,000円)
- ・ 住民グループら主催のイベントへの参加者数 600人 (300人)
- ・ 住民グループによるイベント等における商品販売額 25,000円 (5,000円)

6. 打ち合せ

本業務を推進するため、打ち合せは随時行う。本村における打ち合わせは、可能な限り支援業務による来村日程に合わせるが、早急な打ち合わせが必要な際は、受託者はできる限りの調整を行い、その要請に応じるよう努力するものとする。

7. 成果品

- (1) 空き家等交流販売拠点活用計画 (A4判、簡易製本1冊及び電子データ)
- (2) 情報紙またはマップ (A4判、4頁、4色刷り、3000部×2種及び電子データ)
- (3) 業務報告書 (A4判、簡易製本1冊及び電子データ)

8. その他

- (1) 制作物にかかる所有権・著作権は、本村に帰属する。
- (2) 受託者は、常に担当課からの連絡を円滑に受け取ることができるよう努める。
- (3) この仕様書に定めのない事項については、双方協議の上で処理するものとする。